

廃棄物処理施設における放射能測定結果【H30年10月測定分】

一関地区広域行政組合では、廃棄物処理施設において、放射能濃度測定を実施しました。  
測定結果は、以下のとおりです。

測定値の単位：主灰・飛灰・不燃物・脱水汚泥【Bq/kg】

施設名	測定項目	採取月日	セシウム 134測定値	セシウム 137測定値	セシウム 合計値
一関清掃センター ごみ焼却施設	主灰	H30年10月19日	ND	74	74
	飛灰	H30年10月19日	73	820	893
	飛灰	H30年10月23日	53	600	653
	飛灰	H30年10月26日	73	780	853
大東清掃センター ごみ焼却施設	不燃物等	H30年10月3日	18	120	138
		H30年10月10日	ND	140	140
		H30年10月17日	ND	84	84
		H30年10月31日	ND	110	110
	飛灰	H30年10月3日	53	600	653
		H30年10月10日	40	430	470
		H30年10月17日	ND	130	130
		H30年10月31日	33	340	373
一関清掃センター し尿処理施設	脱水汚泥				
川崎清掃センター し尿処理施設	脱水汚泥				

・一関清掃センター、川崎清掃センターの脱水汚泥は年4回測定します。

測定値の単位:【Bq/L】

施設名	測定項目	採取月日	セシウム 134測定値	セシウム 137測定値	検出下限値 (134/137)
舞川清掃センター 最終処分場	放流水	H 30年10月16日	ND	ND	10/10
	上流井戸	H 30年10月16日	ND	ND	1/1
	下流井戸	H 30年10月16日	ND	ND	1/1
東山清掃センター 最終処分場	放流水	H 30年10月10日	ND	ND	10/10
	上流井戸	H 30年10月10日	ND	ND	1/1
	下流井戸	H 30年10月10日	ND	ND	1/1

- ・「不検出」とは、検出下限値未満であることを示します。
- ・飛灰とは、排ガス中に同伴されているチリ(ばいじんダスト)をバグフィルターなどの集塵装置で捕集した固形物です。

測定値の単位:排ガス【Bq/m<sup>3</sup>(N)】

施設名	測定項目	採取月日	セシウム 134測定値	セシウム 137測定値	検出下限値 (134/137)
一関清掃センター ごみ焼却施設	1号炉(ろ紙部)	H 30年10月18日	ND	ND	0.42/0.45
	1号炉(ドレン部)		ND	ND	1.1/0.86
	2号炉(ろ紙部)	H 30年10月26日	ND	ND	0.46/0.43
	2号炉(ドレン部)		ND	ND	1.4/1.2
大東清掃センター ごみ焼却施設	1号炉(ろ紙部)	H 30年10月10日	ND	ND	0.16/0.14
	1号炉(ドレン部)		ND	ND	0.43/0.53
	1号炉(ろ紙部)	H 30年10月24日	ND	ND	0.15/0.16
	1号炉(ドレン部)		ND	ND	0.45/0.41
	2号炉(ろ紙部)	H 30年10月9日	ND	ND	0.17/0.13
	2号炉(ドレン部)		ND	ND	0.41/0.39

廃棄物処理施設における空間線量率測定結果【H30年10月測定分】

一関地区広域行政組合では、廃棄物処理施設において、空間線量率測定を実施しました。測定結果は、以下のとおりです。

施設名	測定場所	測定月日	測定値(地上1m)	備考
一関清掃センター	施設内8地点	H30年10月4日～ H30年10月25日	0.06～0.07	施設敷地境界 及びバッググラウンド
大東清掃センター	施設内4地点	H30年10月2日～ H30年10月30日	0.05～0.08	施設敷地境界
舞川清掃センター	施設内7地点	H30年10月4日～ H30年10月25日	0.05～0.08	仮置き場と敷地 境界及びゲート ボール場
東山清掃センター	施設内5地点	H30年10月2日～ H30年10月30日	0.04～0.07	施設敷地境界 及び埋立場所

- ・測定値は、測定地点ごとに30秒間隔で5回測定した平均をとり、その最小値から最大値をまとめたものです。
- ・空間線量率測定は、1週間に1回の測定です。
- ・一関清掃センターと舞川清掃センターでは、H24年9月測定分からエネルギー補償機能付きの放射能測定器を使用しているため数値が以前と比べて低くなりました。